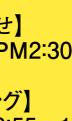
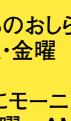
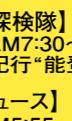
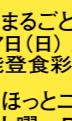
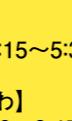
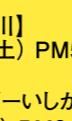
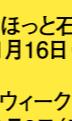


広報いしかわ

Ishikawa Prefecture



緊急経済・雇用対策の推進



世界経済の急激な減速により、本県の経済はかつて経験したことのない速度で悪化、今なお経済・雇用情勢に大きな影を落としています。これを受け、県では「石川県緊急経済・雇用対策会議」を設置するなど、「経営」「資金」「雇用」の3つの安心の実現に向けてセーフティネットの拡充と強化に取り組んでいます。

新型インフルエンザ対策本部を設置

新型インフルエンザの発生を受け、国は対策本部を設置。県においても「石川県新型インフルエンザ対策本部」を立ち上げ、相談窓口の設置や医療体制の整備、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を前倒しで行うなどの対策を実施しました。現在、優先接種対象者の方から、順次ワクチンの接種を進めています。

青少年の携帯電話の適正利用の強化 (いしかわ子ども総合条例改正)

子どもたちが携帯電話を適正に利用することを推進するために、「いしかわ子ども総合条例」の一部を改正。小中学生には防災、防犯その他特別な場合を除き携帯電話を持たせないよう努力することを保護者に求めるとともに、フィルタリングサービスの利用の徹底を図ることとしました。改正された条例は平成22年1月1日から施行されます。

(財)いしかわ農業人材機構を立ち上げ

農業に関するワンストップの総合窓口となる「(財)いしかわ農業人材機構」を4月1日に立ち上げました。業務の柱の一つである「いしかわ耕稼塾」では、プロの農家の育成はもちろん、一般的な県民の方向けにも農作業体験の場を提供するなど、県民全體で農業を応援する仕組みづくりを推進しています。



「能登本まぐろ」のブランド化を推進



定置網で漁獲した品質の高いクロマグロと畜養のクロマグロを「能登本まぐろ」と定義し、ブランド化を推進しています。本県では初めてとなる畜養は8月に開始され、10月には高品質な畜養クロマグロが「能登本まぐろ」として初販売されました。

能登半島地震復旧工事完了

自宅の再建や災害公営住宅の完成に伴い、仮設住居から全世帯が退去するなど、能登半島地震からの本格的な復興に向けて歩みを進めました。さらに11月1日には「八世乃洞門新トンネル」が開通し、能登半島地震の復旧工事はすべて完了しました。



トキの分散飼育の受入準備が進展

昨年いしかわ動物園がトキ分散飼育実施地に決定したことを受け、今年はいしかわ動物園の飼育員2人を新潟県佐渡市の佐渡トキ保護センターへ派遣するなど、受入体制を本格化させました。また繁殖ケージが今月竣工し、1月8日の受入に向けた準備が着々と進んでいます。

提供:佐渡トキ保護センター



アジア太平洋環境開発フォーラム(APFED)が開催

環境省主催の国際会議「アジア太平洋環境開発フォーラム(APFED)」が、7月30日から8月3日にかけて七尾市で開催されました。それに併せて本県では、APFED委員と地元住民との交流事業などを主催したほか、「環境国際シンポジウムin能登」を開催しました。



「奥能登のあえのこと」のユネスコの無形文化遺産代表一覧表への記載



北陸新幹線金沢開業に向けた対応を加速

平成26年度末に予定されている北陸新幹線金沢開業の効果を最大にするため、官民を挙げて取り組むアクションプラン「STEP 21」を策定しました。「観光誘客拡大」、「魅力ある交流基盤づくり」、「産業・地域づくり」を基本戦略に掲げ、今後も金沢開業に向け幅広い分野にわたる取り組みを進めます。



能登空港利用者が100万人を達成

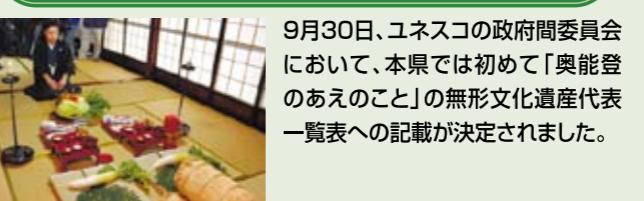


開港7年目を迎える能登空港の定期便利用者100万人達成を祝して、12月5日に、能登空港利用促進協議会と能登空港利用促進同盟会の共催により、記念式典を開催。また、12月18日には能登空港で100万人目の利用者に記念品の贈呈を行いました。

小松・静岡便が就航

7月23日、小松空港の7番目の国内路線となる小松・静岡便が、(株)フジドリームエアラインズの運航で就航しました。直行便の就航を機に北陸と静岡の産業、スポーツ、文化面などでの交流がますます盛んになることが期待されます。

「奥能登のあえのこと」のユネスコの無形文化遺産代表一覧表への記載



9月30日、ユネスコの政府間委員会において、本県では初めて「奥能登のあえのこと」の無形文化遺産代表一覧表への記載が決定されました。

平成21年 年表

- 1月～3月
 - 石川県緊急経済雇用対策会議を開催(1月19日、3月9日、4月27日、9月4日、12月15日)
 - ANAと「企業の森づくり」協定を締結(2月24日)
 - エコギフトによる頑張る学校・地域支援事業を創設(贈呈式:3月13日)
 - いしかわ子ども総合条例を改正し、一般事業主行動計画の策定・公表の義務の対象範囲を拡大(3月19日)
 - 平成19年能登半島地震災害記録誌を発行(3月25日)
 - 北陸新幹線金沢開業に向けたアクションプラン「STEP21」を策定(3月26日)
 - 志賀原子力発電所1号機の再起動を了承(3月27日)
 - (財)いしかわ農業人材機構を立ち上げ(4月1日)
 - 北陸自動車道 安宅スマートインターチェンジを常設化(4月1日)
 - 志賀高等学校と能登高等学校が開校(4月1日)
 - いしかわ動物園「トラ舎・ライオン舎」リニューアルオープン(4月11日)
 - いしかわ求職者総合支援センターを開設(4月15日)
 - 武蔵ヶ辻第四地区市街地再開発事業(近江町いちは館)が完成(4月16日)
 - いしかわ耕稼塾を開講 予科(本科)(4月22日～)能登実践科(7月16日～) 経営革新スキルアップコース(7月28日～)専科(10月29日～)
 - 石川県新型インフルエンザ対策本部を設置(4月28日)
 - ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭2009を開催(4月28日～5月4日)
 - 能登半島地震に伴い設置した応急仮設住宅からすべての家庭が退去(5月11日)、解体撤去(6月25日)
 - 佐渡トキ保護センターへ飼育員を派遣(5月11日～6月10日、6月15日～26日)
 - 21世紀環境共生型住宅(エコハウス)モデル整備地域に決定(5月12日)
 - 北陸3県繊維産業クラスター協議会を設立(5月19日)
 - ファミリーマートとの包括協定を締結(5月20日)
 - 白山で約70年ぶりにライチョウの生息を確認(6月2日)
 - 建設業復興化支援プログラムによる新分野進出経営計画の承認(6月11日)
 - いしかわ子ども総合条例に、小中学生には原則、携帯電話を持たせないことやフィルタリングサービスの利用の徹底を規定(6月29日)
 - 白山スーパー林道「温泉に泊まって」片道無料キャンペーンを実施(7月1日～11月14日)
 - 能登有料道路片道無料キャンペーンを実施(7月3日～10月31日)
 - 奥能登の農産物を「顔の見える能登の食材」として金沢市場に出荷する直行便の運行を開始(7月6日)
 - 三菱重工業(株)との技術提案型展示商談会を開催(7月13日)
 - 小松・静岡便が就航(7月23日)
 - アジア太平洋環境開発フォーラムを開催(7月30日～8月3日)
 - 先駆的里山保全地区を選定(7月31日)
 - 珠洲市飯田湾でクロマグロの畜養事業が開始(8月14日)
 - 辰巳ダム定礎式を実施(8月30日)
 - 能登演劇場で無名塾「マクベス」がロングラン公演(9月18日～11月15日)
 - 健民スパレクブラザ「アイススケートリンク」がオープン(9月20日)
 - 「奥能登のあえのこと」がユネスコの無形文化遺産代表一覧表に記載(9月30日)
 - いしかわ動物園開園10周年記念式典を開催(10月10日)
 - 新型インフルエンザワクチンの接種開始(10月19日)
 - 国道249号「八世乃洞門新トンネル」が開通(11月1日)
 - 能登空港100万人利用記念式典を開催(12月5日) 利用者が100万人を達成(12月18日)
 - 能登有料道路県立看護インターをフルインター化(12月13日)
 - トキ繁殖ケージ竣工式を開催(12月17日)
- 4月～6月
- 7月～9月
- 10月～12月

年末年始の県庁19階展望ロビー開館ご案内

29日から31日までは閉館します。

開館時間

元日(1月1日) 午前6時30分～午後8時
1月2日、3日 午前10時～午後8時

オーケストラ・アンサンブル金沢 新春ミニコンサート

平成22年1月3日(日)
日時 ①午後1時～/②午後2時～
の2回開催

(冬季(1月4日～3月31日)の開館時間)

【平日】午前10時～午後7時 【土・日・祝】午前10時～午後8時

県総合案内 ☎ 076(225) 1111(代表)